

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	岡山芳泉高等学校		所在地	岡山市南区芳泉三丁目1番1号	
敷地面積	43, 674. 00 m ²		棟数	35 棟（計画記載対象 10 棟）	
延床面積	15, 927. 55 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等は500㎡以上） ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6強		津波 ー		浸水 0. 3m以上～1. 0m未満	
建築規制	市街化区域、第一種中高層住居専用地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 （ 2016 年度）	電気 342,412 kwh	ガス 816 m ³	水道 6,146 m ³	燃料（ - ） - 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 岡山市避難所（土砂災害、洪水）協定による避難場所				

1 施設内建物の概況

名 称	格技場(1棟)1	第一号棟(2棟)2	第二号棟(3棟)3-1
築年(西暦)	1974 年	1974 年	1974 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	378.45 m ²	1107.35 m ²	810.77 m ²
延床面積	435.10 m ²	3,315.08 m ²	1790.24 m ²
主要な用途 (室名等)	武道場	普通教室 生物実習室 音楽室	図書室 普通教室 物理教室
主要な設備 (屋外を含む)	ー	給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	自転車置き場(8棟)	第二号棟(10棟)3-2	第三号棟(11棟)6
築年(西暦)	1974 年	1975 年	1975 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	765.00 m ²	645.11 m ²	925.12 m ²
延床面積	765.00 m ²	2,208.37 m ²	2,691.20 m ²
主要な用途 (室名等)	自転車置き場	事務室 校長室 職員室	化学教室 普通教室 情報教室
主要な設備 (屋外を含む)	—	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 消火設備	空調設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1		有	有
躯体(コンクリート) の健全性	※耐震診断済のみ	適	適
※2 圧縮強度		適	不適
※3 中性化		適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq$ 0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	体育館(18棟)9	生徒会館(芳友会館)(25棟)12-1	第四号棟(特別教室)(26棟)13
築年(西暦)	1977 年	1979 年	1980 年
構 造	鉄骨 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	1354.63 m ²	369.11 m ²	227.86 m ²
延床面積	1664.94 m ²	732.76 m ²	455.72 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	食堂 集会所	社会科室 LL教室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 消火設備	—	—
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	生徒会館(芳友会館)(32棟)12-2		
築年(西暦)	1983 年		
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階		
建築面積	363.65 m ²		
延床面積	363.65 m ²		
主要な用途 (室名等)	研修室		
主要な設備 (屋外を含む)	—		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	不適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし		

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
格技場(1棟)1	設備等の定期更新を行う。
第一号棟(2棟)2	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
第二号棟(3棟)3-1	長寿命化改修を行う。
自転車置き場(8棟)	予防保全を図る。
第二号棟(10棟)3-2	長寿命化改修を行う。
第三号棟(11棟)6	長寿命化改修を行う。
体育館(18棟)9	設備等の定期更新を行う。
生徒会館(芳友会館) (25棟)12-1	予防保全を図る。
第四号棟(特別教室) (26棟)13	長寿命化改修を行う。
生徒会館(芳友会館) (32棟)12-2	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概 要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
中性化対策・屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(26棟) 2018年度設計、2019年度から施工
(11棟) 2020年度以降設計・施工
(3棟、10棟) 2022年度以降設計・施工

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
格技場(1棟)1	設備等の 定期更新									LED	
第一号棟(2棟)2	設備等の 定期更新			トイレ 洋式化						LED	
第二号棟(3棟)3-1	長寿命化改修						設計・施工 7				
自転車置き場(8棟)	予防保全	予防保全を図る。									
第二号棟(10棟)3-2	長寿命化改修						設計・施工 3棟に含				
第三号棟(11棟)6	長寿命化改修				設計・施工 5						
体育館(18棟)9	設備等の 定期更新									LED	
生徒会館(芳友会館)(25棟)12-1	予防保全	予防保全を図る。									
第四号棟(特別教室)(26棟)13	長寿命化改修		設計	施工 1							
生徒会館(芳友会館)(32棟)12-2	予防保全	予防保全を図る。									

4. 概算費用

・総額 13億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
H31.3	第一号棟(2棟)において、設備等の定期更新を追加
R7.3	格技場(1棟)、第一号棟(2棟)及び体育館(18棟)において、設備等の定期更新を追加